

《目 次》

献呈の辞	法学部長 大谷 基道	
論 説		
近世の判決団の多様性 ——判決団の多様性序説——	小野 秀 誠	1
コロナ禍における「要請」の作用	大藤 紀子	29
「使用者の争議對抗行為」論の射程と体系的位置づけ	榎原 嘉明	51
Recent socio-legal issues concerning end-of-life care in Japan	神馬 幸一	75
フランス“即時取得”制度の現在 ——日本法との比較可能性——	杉浦林太郎	113
世界保健機関・国際保健規則の2024年の改正について ——改正IHRの概要——	鈴木 淳一	135
長子承継権の競合 ——モリナ説と教皇庁控訴院——	藤田 貴宏	165
スペインにおける国際人権法の適用と位置づけ	ベドリサ・ルイス	189
断獄廻と吟味願に浮かぶ手続の交錯	高田 久実	211
ドイツ人権デューディリジェンス立法上の義務の事項的・空間的射程	井川 志郎	243
ドイツ争議行為法における新たな判例 ～アマゾン事件・連邦労働裁判所2018年11月20日判決・連邦憲法裁判所2020年 8月19日決定～	高橋 賢司	263
外国軍隊の労働者に関する独日労働法比較のための覚書	春田 吉備彦	281

NLRBの黄昏?—第二次トランプ政権下における独立行政機関の危機
..... 藤木 貴史 305

De 負動産 en « négabilier » : l'influence du Professeur Koyanagi pour
la recherche sur le délaissement foncier et immobilier en France
..... Sophie BUHNIK 333

判例研究

建設アスベスト国賠事件・最高裁四判決の比較検討
——判例の総合研究のために—— 小西 啓文 357

小 柳 春一郎 先生 略歴・主要著作目録..... 383

石 井 保 雄 先生 略歴・主要著作目録..... 405